

会議結果報告書

1	会議名	第2回戸別収集実験事業意見交換会（茅ヶ崎南地区）
2	日時	令和7年10月5日（日）14:00～15:00
3	場所	高砂コミュニティセンター ホール1・2
4	出席者	（資源循環課）八幡主任、尾崎主事 （環境事業センター）小田主査 （茅ヶ崎南地区）参加人数：14人
5	内容	<p>資料に基づき、第2回戸別収集実験事業意見交換会を実施した。主な質問と意見は次のとおりであった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 不適正排出が多少減ってきていると感じている。 ● 燃やせるごみが戸別収集となり、プラごみの問題が顕著となっている。市民のつどいでも提案をさせてもらったが、プラごみも戸別収集にしていきたい。 ● プラごみの問題としては、プラごみは嵩があるため、潰しても膨らんでしまい、カラスイケイケから飛び出してしまうことがあり、それらがカラスに荒らされてしまう。 ● プラごみが燃やせるごみに出されることがある。プラごみには、ネットをかける必要があるため、プラごみも戸別収集になれば、ネットをかける必要がなくなり、ステーションの維持管理負担が減る。カラスに荒らされることも少なくなると思われるので、環境的にもよくなるのではないと思う。 ● プラごみに生ごみが入っていることもあった。 ● 他地域から持ち込まれるプラごみがあり、カラスイケイケを増設して対応している。 ● 駅前で商売されている方々から聞いた話であるが、店先に知らないごみが置かれていることがあった。 ● プラごみのごみ出しについて、ステーション収集ではステーションに持っていけば終了となるが、戸別収集となればポリバケツなどに入り切るように入れようと思ひ、ごみ出し意識が変わるのではないと思う。プラごみも戸別収集にしていきたい。 ● プラごみを出す際に、嵩が減るよう小さく切ってから出すようにしている。1人1人が意識するだけでも変わると思う。 ● 戸別収集実験事業が開始してから、朝早くにごみ収集業者が商売されている方の

ごみを収集している様子を確認している。それが関係しているか分からないが、ステーションの容量が溢れるということがなくなり、周りが綺麗になっている。

- 戸別収集は是非継続していただきたい。そして、実施エリアを拡大していただきたい。特に中海岸はサザン通りがあり、実施しているところと実施していないところがある。観光客が来やすいようにしていただきたい。是非進めていただきたい。
- 若松町では戸別収集を実施していないが、ステーションに設置しているネットなどを通勤している自転車が引っ掛けそうであるため、順次戸別収集の実施エリアを拡大していただきたい。実施していただくな、プラごみも実施していただきたい。
- 幸町の交差点付近にステーションを設置した当初は、ものすごく通りすがりのごみ出しやポイ捨てがあったが、現状はない。若松町も幸町もごみが散らかるということはなく、誤ってステーションに出されることは少ない。プラごみにおいては、一部ネットを使用しているため、風が強い日に飛んでしまうことがある。ネットボックスに移行してはいるが、プラごみも戸別収集となればありがたい。
- 大きな一軒家がなくなり、4軒分譲した場合、条例だと敷地内にステーションを設けなくてよいため、不動産事業者から自治会に既設の集積場所の使用の相談がある。理解のある不動産事業者は、敷地内にステーションを設置してもらえるが、そうでない不動産事業者は、既設のステーションを頼ってくる。
- びんかんペットボトルなどの収集日に設置されるネットは増やしてもらえるか。
→ 調整することは可能である。他地域でも同様のご意見を頂戴しているため、市全域において増やせるよう、財政部局と調整をしている。
- ネットに入りきらない場合は、ビニール袋で出してもよいか。
→ 可能である。
- 収集職員が、排出量からネットを設置する量の調整はすることはできないか。
→ 天候や季節によって変動するため、調整することは難しい。
- 燃やせるごみが戸別収集となり、収集時間が遅くなったのだが、プラごみも戸別収集となったらどうなるか。できれば早く収集してほしい。
→ 収集時間が変更となることも考えられる。現在の収集時間から変更がないように収集体制を構築することは難しいことである。
- 戸別収集実験事業の検証結果の公表が3月上旬というのは遅いのではないか。ステーション収集に戻すとなった場合、1ヶ月弱で対応するのは厳しい。
→ なるべく早い段階でお知らせできるように調整をしていく。

	以上
--	----